

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 アパレル素材論	授業期間	通年

担当教員(代表)：菅野めぐみ

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル製品や各自制作物の素材に関心を持たせることを目標とし、アパレル（衣服）の構成要素である繊維、糸、布地の種類や特徴についての基礎的知識を習得させる。さらに代表的な綿、毛、絹織物の種類に関して、教材（テキスタイルファブリック）を活用しながら、糸の構造や織物組織などの特徴に着目させ理解を図る。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 概論（講義、演習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2コマ
 - 1－1 各自着用しているアパレル製品の品質表示を通して、繊維組成や取扱い方法などを認識させる
 - 1－2 テキスタイルファブリック作成により布素材の種類や特徴をおおまかに認識させる
2. 繊維
 - 2－1 繊維の分類（講義、実験）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3コマ
 - (1) 繊維の形状、性能、混用による分類および名称、用語について
 - (2) 繊維の鑑別法・鑑別法（顕微鏡法、呈色法）について
 - 2－2 天然繊維（講義）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8コマ
 - (1) 綿 (2) 麻 (3) 毛 (4) 絹
 - ・各繊維の種類、構造と成分、性質、加工などについて
 - 各繊維の代表的な織物の種類と特徴について（糸、織物組織、加工など）
 - 2－3 化学繊維（講義）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4コマ
 - (1) 再生繊維 (2) 半合成繊維 (3) 合成繊維
 - ・各繊維の種類、性質、加工などについて
3. 糸（講義、演習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3コマ
 - (1) 紡績糸、フィラメント糸について (2) 糸の撚り構成、撚りの強弱について
 - (3) 糸の太さの表示 (4) ファンシーヤーン、加工糸などの種類
4. 布地（講義）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6コマ
 - (1) 織物・各繊維素材の代表的な織物の種類と特徴について（糸、織物組織、加工含）
 - (2) 編物・構造、特徴、種類など主に織物との違いについて
5. 総論（講義）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1コマ

【評価方法】

S～C・F評価（学業評価80% 授業姿勢20%）

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局／「ワークブッカー アパレル素材論」文化服装学院教科書出版部／「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

講義とともに実物の布地教材に触れながら、繊維、糸、布地について素材への理解に取り組ませる授業です。
文化服装学院専任講師/菅野めぐみ

記載者氏名 菅野めぐみ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	4 単位
科目コード	科目名 染色演習	授業期間	通年

担当教員(代表)：杉山 美和	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

実験実習・レポート製作を通して各染色技法、加工方法を習得し、新たな発想力、表現力を養う。

素材選択から染色加工に至るまでのファッション衣料としてのテキスタイルの総理解を図る

概論、基礎実験、工芸染色、夏期休暇課題、展示会見学

前期2単位 後期2単位 52コマ

（前期）

染色実験・演習 26コマ

染色概論 1コマ

カラートライアングルの作成 5コマ

染色ワークショップ 6コマ

型紙捺染 2コマ

精錬・漂白実験 2コマ

染色基礎実験 4コマ

天然染料による染色実験 4コマ

絞り染め、板締め絞り 2コマ

試験、夏季休暇課題

（後期）

染色実験・演習 26コマ

糸染色 2コマ

フェルト、糸紡ぎ 4コマ

ろうけつ染め 4コマ

更紗 4コマ

転写マーブリング 2コマ

友禅染・金糊描き 6コマ

皮革染色 4コマ

評価方法・対象・比重

評価基準：S.A.B.C.F評価、学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価＝前期試験の得点、平常成績（授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価）など

授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連専門講座④ アパレル染色論

参考図書

その他資料 実物資料

授業の特徴と担当教員紹介

・アパレル及びテキスタイル分野に特化した染色授業 ・文化服装学院専任講師担当

記載者氏名 杉山 美和

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA1	科 名	ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	4 単位
科目コード	201100	科目名	ウィービング基礎演習	授業期間	(通 年)

担当教員(代表)：中島(藤本)桃香	共同担当者：
-------------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

前期は三原組織を中心にサンプル製作を通じ、織物の構造を理解し、製作に必要な知識、技術を習得する。
 前期後半から後期にかけてはマフラー・厚地織物サンプル・身につける布をテーマとした自由製作により、素材・組織選びなど用途に合わせた織物の企画をすることで、風合い・機能・効果を習得する。

【授業計画】

課題1:三原組織サンプル製作	2人1組で卓上織機を使用、製織。 製作したサンプルを使用し、組織図についての講義、演習。……………演習 10 コマ
課題2：組織サンプルの製作	各自木枠にて製織。 色々な織り組織のサンプル製作し、風合いの違いを考察。……………演習 6 コマ
課題3：マフラー製作	2人1組で卓上織機を使用、製織。……………演習 12 コマ 糸染めから企画・設計・製織まで製織。……………講義 4 コマ
課題4：自由製作	各自卓上織機にて製織。 服地・装飾品に使う織り布の企画・設計・製織までを実習。……………演習 14 コマ
課題5：厚地織物	各自木枠にて製織。 ノッティング・綴れ織りのサンプル製作。……………講義 6 コマ

【評価方法】

S～C・F 評価 評価基準：学業評価 90% 授業姿勢 10% 学業評価＝実技課題作品提出及びレポートの提出

主要教材図書 手織りの教科書 グラフィック社

参考図書 ハンドウィービング（手織りの実習） 文化出版

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

特徴：糸から生地になっていく過程を実習により理解する。
 担当教員：文化服装学院ファッションテキスタイル科卒業。
 手織りで作品を作ることと並行して手染めの革製品を製作・販売する個人ブランド Jake Amelie を設立。

記載者氏名 中島(藤本)桃香

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1	科 名 ファッションテキスタイル科1年	単 位	3単位
科目コード	科目名 テキスタイルクリエイションⅠ	授業期間	通年（隔週）

担当教員（代表）：野沢 沙予	共同担当者：
----------------	--------

<p>概要</p> <p>テキスタイル製作において必要な基礎カリキュラムの充実をはかる。</p> <p>作品制作を通して、「基礎知識」「基礎技術」「基礎デザイン」が習得できるようにする。</p> <p>テキスタイルワーク、日傘制作、民族衣装制作</p>
--

前期 1.5単位 後期 1.5単位 39コマ

（前期）

日傘 19コマ

- ・ 一般知識
- ・ 作品制作
- ・ レポート提出
- ・ プレゼンテーション発表

（後期）

民族衣装 20コマ

- ・ 一般知識
- ・ 作品制作
- ・ レポート提出
- ・ プレゼンテーション発表

※うちコラボレーションカリキュラムを含む

評価方法・対象・比重

評価基準：S.A.B.C.F評価、学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価＝平常成績（授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価）など
授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

<p>主要教材図書</p> <p>文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論 他</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料 実物資料</p>
<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>・テキスタイルに特化した授業内容 ・文化服装学院専任講師担当</p>

記載者氏名 野沢 沙予

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	4 単位
科目コード	科目名 服飾造形 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：野沢 沙予	共同担当者：
----------------	--------

概要
服飾造形としての一般知識、原型の作図方法、縫製の基礎を理解させる。
衣服制作をとおして衣服の構造を理解し、ファッション衣料としてのテキスタイルに関連させ指導する。
衣服造形の基礎、服飾造形概説、スカートの知識・縫製、シャツ・ブラウスの基礎知識・縫製。

前期 2 単位	後期 2 単位	5 2 コマ
(前期)		
・ 服飾造形の基礎		6 コマ
服飾造形概説		
縫合の基礎		
採寸		
文化式婦人原型の作図法		
・ スカート (タイトスカート)		2 0 コマ
・ 一般知識		
・ 作品制作		
・ レポート提出		
・ プレゼンテーション発表		
(後期)		
・ シャツ・ブラウス		2 6 コマ
・ 一般知識		
・ 作品制作		
・ レポート提出		
・ プレゼンテーション発表		

評価方法・対象・比重
評価基準：S. A. B. C. F 評価、学業評価80%、授業姿勢20%
※学業評価＝平常成績（授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価）など
授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

主要教材図書
文化ファッション大系 服飾関連講座① 「服飾造形の基礎」、②「スカート・パンツ」、③「ブラウス・ワンピース」
参考図書
その他資料 実物資料

授業の特徴と担当教員紹介
・ テキスタイルに特化した衣服製作 ・ 文化服装学院専任講師担当

記載者氏名 野沢 沙予

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 自由研究 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：野沢 沙予	共同担当者：
----------------	--------

概要

自由研究ならではの講義および実習を導入する。
各自でテーマを設定し、目的に照準を合わせて作品制作や研究調査を行うことで自主性を養う。
他学生の発表を聴き、情報交換をすることで知識の幅を広げる。

前期 1 単位 後期 1 単位

- 今まで学んだことの応用として、さらに掘り下げて研究したことや製作したいもの。
また、新しく興味のあるものについて調べまとめる。
プレゼンテーション用スライド作成、発表を行う
- 夏期休暇を利用し普段の授業では得られない経験や学びを習得する。
休暇明けにプレゼンテーション用スライド作成、発表を行う
(例) ・ テキスタイル産地見学
・ 校外での技術体験、ワークショップ
・ 企業インターンシップ など

評価方法・対象・比重

評価基準：S. A. B. C. F 評価、学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価＝平常成績（授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価）など

授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

主要教材図書

参考図書

その他資料 参考実物標本

授業の特徴と担当教員紹介

・テキスタイルに特化した自主演習 ・文化服装学院専任講師担当

記載者氏名 野沢 沙予

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 ドレーピング I	授業期間	通年

担当教員(代表)：野沢 沙予	共同担当者：
----------------	--------

概要

立体裁断の基本的考え方、基礎的技術・知識を理解させる。

布目の重要性・ボディとパターンの関係、ドラフティングの仕方、平面から立体への布のとらえ方、視覚訓練の重要性。

立体裁断の基礎、タイトスカート、身頃の基礎、シャツ・ブラウス

前期 1 単位 後期 1 単位 26 コマ

(前期)

1・立体裁断の基礎 4 コマ

- ・準備…用具、ボディ、布などの説明
- ・ボディライン入れ
- ・布目通し、ピン打ち各種説明

2・タイトスカート 10 コマ

- ・ウエストダーツ
- ・ベルト後ろ中心あき
- ・ピン打ち、ドラフティング、パターンチェック、ファーストパターン作成、再組み立て

(後期)

4・シャツ・ブラウス …… 12 コマ

- ・サイド・ダーツ、肩ダーツの身頃
- ・衿…シャツカラー
- ・袖…セットインスリーブ
- ・ピン打ち、ドラフティング、パターンチェック、ファーストパターン作成、再組み立て

評価方法・対象・比重

評価基準：S. A. B. C. F 評価、学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価＝平常成績（授業内での応答、課題作品・実技の評価）など

授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

主要教材図書

・文化ファッション大系 アパレル生産講座 「立体裁断 基礎編」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

・テキスタイルに特化した立体裁断方法 ・文化服装学院専任講師担当

記載者氏名 野沢 沙予

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	1 単位
科目コード 101700	科目名 ニット基礎	授業期間	後期

担当教員(代表)：下村 みち代

共同担当者：

概要

ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針編み、家庭用手編み機の理解と作品作りの知識を習得する。テキスタイル研究の一環としてニットの可能性を知り、テキスタイルの幅を広げる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習、ニットのアイロンのかけ方	講義・演習	1
2	指編みまとめと始末、鉤針基礎（鎖編み、細編み）JIS記号について	講義・演習	1
3	鉤針基礎（細編み・中長編み・長編み）	演習	1
4	鉤針応用・円形編み	講義・演習	1
5	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1
6	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み） 伏せ止め	演習	1
7	ニット編地研究、経編・丸編・横編の特徴と横編み編地見本帳製作	講義	1
8	家庭用手編み機ニットの素材・ファンシーヤーン 番手	講義・演習	2
9	家庭用手編み機模様編みと柄表現 ジャカード各種	講義・演習	2
10	ニット編地自由研究 テーマに沿った応用編地	演習	2

評価方法・対象・比重

提出物… 80% 授業姿勢・出席… 20%

主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント

授業の特徴と担当教員紹介

ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、テキスタイルの幅を広げる。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 下村 みち代

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

1

科コード GA1	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	1
科目コード	科目名 色彩論・演習	授業期間	前期

担当教員(代表)：三枝みさお	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

ファッションの色彩に関する基礎的な知識と技術を、講義と実習を通して身につける。

色彩の体系、色彩の科学、色彩心理、配色の基礎について学び、ファッション工芸の現場で生かすことを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. オリエンテーション (1コマ)〈講義〉

2. 色彩の体系 (3コマ)〈講義・演習〉

- ・色の分類方法
- ・色の三属性とトーン

[プリント演習]

[カラーチャート作成]

3. 色彩の識別 (2コマ)〈講義・演習〉

[課題作成：色相別コラージュ]

[プリント演習]

4. 色彩の心理 (2コマ)〈講義・演習〉

- ・色の三属性による感情効果
- ・色彩のイメージ

[プリント演習]

[プリント演習] または課題作成

5. 色彩の技術 (6コマ)〈講義・演習〉

- ・色相を基準にした配色
同一色相 類似色相 中差色相 対照色相 補色
- ・トーンを基準にした配色
同一トーン 類似トーン 対照トーン
- ・流行配色
トーン・オン・トーン トーン・イン・トーン
フォ・カマイユ トーナル
- ・カラーコーディネーションの提案
- ・色彩構成
シンメトリー アシンメトリー レピテーション
グラデーション アクセント セパレーション

[プリント演習]

[プリント演習]

[プリント演習]

[課題作成：カラーコーディネーション]

[プリント演習]

評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書

『ファッション色彩Ⅰ』(文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：講義と演習によって理論と感性を磨く

担当教員：文化服装学院専任教授

記載者書名欄 三枝みさお

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1	科 名 ファッションテキスタイル科1年	単 位	1単位
科目コード 500200	科目名 デッサン	授業期間	(前期)

担当教員(代表)：柳澤 利光	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

様々なものの見方を通じ、描写の楽しさを再認識する事と合わせ、創造力を伸ばす為の観察力・イメージを見る側に伝える為の基本描写力の向上を目的とする。

【授業計画】

- 1、オリエンテーション：様々な物を描く際に大切な、幾何形体について学ぶ。
- 2、構造線の理解と描写①：先に力の流れ・形の方向性・構造線を学ぶ。
- 3、構造線の理解と描写②：その後、構造線とアウトラインによる立体描写。
- 4、小物のデッサン①(観察画)：ものの本質を捉える。
- 5、小物のデッサン②：ものの立体構造をメインに捉える。
- 6、速写をする：全体のシルエットを捉える。生きた動きを捉える。
- 7、クレヨンスクラッチ：形と色彩の意識的・偶然の描写練習。
- 8、靴のデッサン①：靴(基本造形)の理解。
- 9、靴のデッサン②
- 10、自然物のデッサン(観察画)：ものの本質を捉える。
- 11、描写時の視点・気付き：創造につながる描写の理解と実習。
- 12、無彩色技法：単色描写の可能性。
- 13、描写応用技法：アクリル絵の具による具象～抽象・色彩描写。
- 14、マネキン頭部のデッサン①(観察画)：ものの本質を捉える。
- 15、マネキン頭部のデッサン②：ものの立体構造をメインに捉える。
- 16、金属物のデッサン：立体造形と金属の質感描写力の習得。
- 17、立体技法：明暗による立体把握。
- 18、花のデッサン：立体造形と生命感を捉える。
- 19、石膏トルソのデッサン①：大きな面で捉えた造形・空間・描き込みと省略の習得。
- 20、石膏トルソのデッサン②
- 21、鳥剥製のデッサン①：造形・質感・空間描写の習得。
- 22、鳥剥製のデッサン②
- 23、裸婦クロッキー：裸婦クロッキー実習。
- 24、静物デッサン①：造形・質感・空間描写の習得。
- 25、静物デッサン②
- 26、静物デッサン③ 人に伝えるイメージ・マーク：人に伝える事を考える

【評価方法】

S～C・F評価。評価基準：学業評価80%授業姿勢20%。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	授業の各テーマに合わせ、講師側で準備。

授業の特徴と担当教員紹介

実際にものを観察し手を動かして制作する中で、創造力・描写力を伸ばします。
担当教員はファインアートを主に制作しています。

記載者氏名 柳澤 利光

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 ファッションデザイン画 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：玉川あかね

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

人体プロポーションと体の動きを理解し、衣服のデザイン・構造を的確に描く技術の育成を第一の目標とする。

基礎的なドローイングテクニック、アクリルガッシュを使用した彩色テクニックの基礎を習得させる中で、学生個々の表現力を伸ばす。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I・人体のプロポーション／8頭身（正面・側面）の描き方 （2コマ）

II・ヌードポーズ／身体の動き、流れを理解する（支脚・遊脚の関係の理解）（2コマ）

*ベーシックポーズ（正面、斜め） *手、足、顔の描き方

III・ポーズと着装／着装表現のプロセスを学ぶ（ヌードポーズ→服のフォルム→構造、デザイン）（4コマ）

*ベーシックドレス、シャツ、スカート、パンツ、スーツなど

IV・アウトライン／ドローイング線の描き方を練習（グラフィックペン、筆ペン、色鉛筆）（2コマ）

下絵から画用紙へのトレース方法

V・製品図／衣服を明確な線図として描く（各種アイテム）（2コマ）

VI・彩色練習／アクリルガッシュの彩色基礎練習（3コマ）

VII・素材表現／各種画材を使用したドローイング、彩色技法（5コマ）

*薄地素材、厚地素材

*連続模様（プリント柄、織柄など）

*透け感、光沢感、ニット、毛皮など

VIII・コンテスト／学内コンテスト服飾工芸部門に応募（1コマ）

IX・修了制作／創作デザインと表現力の強化（5コマ）

*校内ファッション画展にむけての作品制作

X・早描き練／短時間に描き上げるコツをつかむ（2コマ）

評価方法・対象・比重

授業課題作品及び実技試験で評価。 期限後の提出作品は減点とする

S～C・F評価 学業評価・・・80% 授業姿勢・・・20%

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座⑤『ファッションデザイン画』

参考図書

その他資料 参考資料プリント

記載者氏名 玉川あかね

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA1	科 名	ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	ファッションビジネス概論	授業期間	(前期)

担当教員(代表)： 澤住 倫子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションとビジネス (1 コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係

II. ファッションビジネスの基礎知識 (2 コマ)

1. ファッションの範囲と流行の把握
2. ファッションの構成メンバー ファッションビジネスに求められる資質

III. ファッションビジネスの変遷 (3 コマ)

1. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1950 年ー1970 年
2. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1980 年ー現代
3. 現代のファッションキーワード～未来型ファッションビジネス思考

IV. ファッション産業の構造 (3 コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

V. ファッションビジネスの実務 (3 コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

VI. 計数知識 (1 コマ)

1. ファッションビジネスに必要な計数の基礎知識

※すべて講義

【評価方法】

試験 50% テキスト提出 30% 出席 20%

主要教材図書

参考図書 日経、織研新聞、繊維白書、WWDなど

その他資料 教材専用プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住 倫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 デザインプランニング演習	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 佐藤功人	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

デザインに至るまでのプロセス・テーマの掘り下げ・コンセプトの固め方
企業・フリーランスデザイナーが行っている作業を実践すると共にプレゼンテーション能力を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

昨年まではジュエリー科のみの講義で外部企業を招きコラボレーションを行うまでになりました。
今期は4科が合併して初の講義ですので
それぞれの科の特性を活かした企画からプレゼンテーションが出来るよう努めたいと思います。

タイミングが合えばそれぞれの科に向けた産学共同プログラムに繋げる事が出来れば良いと思っています。

通り一辺倒な講義は潮流を見失う事にも繋がる恐れがあるため、初回から3回目(計3コマ)の講義の中で、本年度の生徒の個性を掴み柔軟な講義を進めたいと考えております。

【評価方法】

実践型で創る⇒伝える(プレゼンテーション)を実施。総合的に判断しコメントによる評価する。

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 講師が外部委託業務で行ってきた資料

授業の特徴と担当教員紹介

普段からファッションに対しての感受力を上げる。自己実現に向けた0⇒1企画に対して柔軟な脳を機能させる。
教員プロフィール

COMME des GARCONS・NICE CLAUP・beige shop/RYUICHIROSHIMAZAKI アパレル3社を経て独立、PB

【norihito sato】を中心に外部業務委託デザイナーを請負う。

メンズ/レディースアパレルブランド・MIZUNO/DESCENTE等スポーツブランド・ユニフォーム業界と幅広く精通。
様々な販売形態にも対応 百貨店アパレル・GMS・SPA・通販カタログ・TVショッピング等。

2018年3月に公表された 陸上自衛隊 常装制服改正や企業ユニフォーム等に携わる。

2019年OHRAI(プライベートブランド)商標登録

デザイナー業+マーチャライジングのキャリアを活かしプロダクトアウトの為の

マーケットイン発想と共に絵を載せるに相応しい『魂』宿る商品開発に従事。様々な企業間コラボレーションを実施。

記載者氏名 佐藤功人

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA1	科 名	ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	服飾手芸	授業期間	1 年（通年）

担当教員（代表）：久保田桂子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾手芸全般における基礎知識及び技術を習得し、それを基にしてテキスタイル、服飾、小物造形などに応用発展できるようにする。また、素材・テクニク・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。

【授業計画】

1. 手芸一般知識 (0.5)

手芸の変遷や技術の種類などを理解させる

2. レース表現 マクラメレース 基礎作品 1 点制作 (2.5)

結び表現のみで効果を出すマクラメレースの基礎テクニクを理解し、応用発展できるようにする

3. 加飾美表現 エンブroidリー基礎 作品制作 1 点 (5)

様々な刺繍の基本を学び、習得したテクニクを基に色・ステッチなどをデザインし、オリジナルの装飾表現へ応用発展できるようにする

4. 装飾造形表現 キルティング3種・マジックレース・リバーズアップリケ 基礎作品制作 (2)

ミシンを用いて様々な表面効果を表現するテクニクやレースの原理を用いてオリジナル素材制作するテクニクを習得させる

5. 加飾美表現 装飾技法による作品制作 (4)

様々な刺繍の基本を学び、習得したテクニクを基に色・ステッチなどをデザインし、オリジナルの装飾表現へ応用発展できるようにする

6. レリーフ・ライク表現 ベーシックスマッキング・ラティスマッキング基礎刺し製作 2 点 (2.5)

布の縫い縮め方によって新しい表面効果を表現するテクニクを習得させる

7. レリーフ・ライク表現 ピンキング・シャーリング 基礎刺し製作 1 点 (1.5)

布の縫い縮め方によって新しい表面効果を表現するテクニクを習得させる

8. レース表現 ドロンワーク・ニードルレース・ファゴティング 基礎作品 1 点制作 (4)

様々なかがりによるドロンワーク・ファゴティング及びニードルレースの基本的なテクニクを習得させる

9. 装飾造形表現 アートフラワー 作品製作 2 点 (3)

染色、こてあて、花のまとめ方などのアートフラワーの基本的な知識を習得させ、服のデザインポイントになる装飾効果とテクニクを理解させる

【評価方法】

S～C・F評価

評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書

教科書：文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

本校を卒業した服の知識や制作過程を理解した教員による服飾に特化した装飾手芸技術の歴史、知識および技術の習得を行います。

記載者氏名 久保田桂子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッションテキスタイル科 1 年・ファッション工芸各科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名	西洋服装史	授業期間	(前期)

担当教員(代表)： 原田 弘美	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

衣服の起源を始めとし、古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、文化的背景と結びつけながら解説します。過去の衣服と現代ファッションとの関連性にも着目しながら学び、得た知識をあらゆるデザイン分野に活かせることを目標とします。

【授業計画】

講義授業 / スライド(Microsoft Office PowerPoint)、映像資料(DVD)使用

1. 服飾の起源 (1コマ) 授業概要、衣服の起源、服飾博物館展覧会解説
2. 古代の服飾 (1コマ) 古代エジプト、古代ギリシャ、古代ローマの服飾
3. 中世の服飾 (1コマ) ビザンティン、ロマネスク、ゴシックの服飾
※博物館見学レポート提出
4. 近世の服飾 (2コマ) ルネサンス、バロック、ロココの服飾
5. 近代の服飾 (2コマ) 第一帝政、王政復古、第二帝政、第三共和制時代の服飾
アール・ヌーボーの服飾
6. 現代の服飾[1] (4コマ) 20 世紀初頭、アール・デコの服飾
1930 年代～1950 年代のファッション
7. 現代の服飾[2] (2コマ) オートクチュールからプレタポルテへ
1960 年代～2000 年代のファッション
まとめ

【評価方法】

S～C・F 評価 学業評価・・・85% 授業姿勢・・・15% ※左記を目安に総合的に評価します

主要教材図書

「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 ⑪ 改訂版・西洋服装史」

参考図書 項目により紹介します

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：実物資料や、画像、映像資料などを盛り込み、幅広く西洋服飾の歴史を学ぶ授業。

教員紹介：1994 年より文化服装学院非常勤講師。他に「染織文化論Ⅱ」を担当。

記載者氏名 原田弘美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA1	科 名	ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	グラフィックワーク	授業期間	通年

担当教員(代表)：飯塚 有葉	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 Photoshop の基本操作を習得し、画像の切り抜き・合成ができるようになる。Illustrator 初心者を対象に、ソフトの基本操作を習得し、ペンツールの描画方法、連続柄の作成方法、回転・反転ツール等の操作を身につける。

【授業計画】 1. Photoshop の基本操作：講義・実習 4 コマ ①移動ツールの使い方 ②ブラシツールの使い方 ③レイヤーの使用法 ④選択範囲とブラシツール 2. 画像合成・T シャツグラフィックの作成：講義・実習 3 コマ ①レイヤーマスクの使い方 ②画像合成 ③T シャツグラフィック作成 3. デザイン画への着彩方法：講義・実習 5 コマ ①下絵の修正 ②選択範囲の作成方法 ③色調補正によるカラーバリエーション 4. Illustrator の基本操作：講義・実習 1 コマ ①基本操作とメニュー ②色の設定方法 ③基本図形の描画方法 5. ペンツールの描画方法：講義・実習 講義・実習 4 コマ ①直線 ②曲線 ③直線と曲線 ④オープンパスとクローズパス 6. 写真のトレース方法：講義・実習 3 コマ ①写真のスキニング ②写真の配置 ③トレース 7. 回転・反転ツールの使い方：講義・実習 2 コマ ①回転ツールの使い方 ②反転ツールの使い方 ③左右対称図形の描き方 8. 連続柄作成方法：講義・実習 4 コマ ①スウォッチの作成方法 ②ストライプ ③水玉 ④スカーフデザイン
--

【評価方法】 学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書
参考図書
その他資料 Adobe Photoshop CC2024/Adobe Illustrator CC2024

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際に PC を操作しながらグラフィックのソフトの使用法を身につける授業です。担当教員は、テキスタイルへのデジタルプリントデザインを専門としており、2 年生からのプリントデザインにつながる授業展開をしています。
--

記載者氏名 飯塚 有葉

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 特別講義 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：杉山 美和	共同担当者：野沢 沙予
----------------	-------------

概要

通常カリキュラムの範囲外における、テキスタイルに関する情報や知識を学ぶ。

素材、デザイン、撮影、編集、服装解剖学、伝統衣装 等

通年 1 単位

講義・演習 15 コマ

藍染	新島 大吾	3 コマ
流行色解説	武田 里美	1 コマ
ポートフォリオ制作 1	服部 あゆみ	1 コマ
ポートフォリオ制作 2	服部 あゆみ	2 コマ
皮革素材について	藤田 晃成	2 コマ
効果的な写真の撮り方	東原 昇平	1 コマ
服装解剖学	高見澤ふみ	2 コマ
日本の装束①講義	近藤 尚子・管野 絢子	1 コマ
②着付け演習	近藤 尚子・管野 絢子	2 コマ

※変更の場合あり

評価方法・対象・比重

評価基準：P評価、学業評価80%、授業姿勢20%

学業姿勢・出席状況を基に、履修認定の是非を決定する

授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

・テキスタイルに特化した衣服製作 ・文化服装学院専任講師、外部講師担当

記載者氏名 野沢 沙予

科コード GA1	科 名 ファッションテキスタイル科 1 年	単 位	1
科目コード	科目名 インターンシップ I (自由選択)	授業期間	後期

担当教員(代表)： 野沢沙予	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

就職活動の一環として企業や業種の現場研修を行い、仕事の内容を認識するとともに、早期から就職意識を高め、活動することを目的とする。

授業概要

(自由選択)

企業へ現場研修…14 コマ

- ・キャリア支援室との連携協力のもと各自が希望する企業、関連性のある企業での現場研修を行う
(企業側からの提案、必要とされる研修内容に沿い、就職に繋がる研修となることを理想とする)
- ・内定企業へ定期的に現場研修を行うことで、実践的かつ即戦力となる人材の育成へ繋げる。
- ・就職活動の準備として、情報の収集やポートフォリオの作成
(インターンシップ研修日以外の授業日)

評価方法・対象・比重 ②

・企業からの研修状況の報告(出欠席、研修態度、研修姿勢、履修状況)、研修内容レポート、就職活動用資料制作準備などで総合的に評価する

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 野沢沙予

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA2	科 名 ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 テキスタイル論	授業期間	通年

担当教員(代表)：菅野めぐみ	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル素材論で学んだ基礎知識をもとに講義・演習・実験を通し、素材特性を最大限に引き出したより完成度の高い制作をはじめ、取扱い等を含めた素材知識を身につける事を目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 概論 (講義) 1 コマ
テキスタイル論とは、1 年次で学んだ基礎知識の復習 (各繊維性能、糸、組織等について)
2. 布地の構成 (講義、演習、実習) 7 コマ
織編組織について、布地の構成と規格
織物模型制作、その他織組織スワッチ分類、布地調べ、先染め後染め、ミニテスト
3. 風合い (講義、演習) 3 コマ
各種風合い表現、風合いをつくるためのテクニック (繊維、糸、布地、加工の観点から探る)
風合い別分類マップ制作
4. テキスタイル産地 (講義、演習) 1 コマ
海外を含めた素材の展示会、日本において各産地の特色、サステイナブルな取り組みについて
5. 染色整理仕上げ (講義、演習、実習) 1 コマ
整理仕上げについて 各種仕上げ別分類
6. 布地の物性実験 (講義、実験) 6 コマ
サンプリング、各機器を使用した物性実験、考察
7. 熱可塑性を利用したブリーツ制作 (講義、実習) 5 コマ
ブリーツの保持性実験及び、ブリーツ作品制作
8. フェルト性実験 (実験) 1 コマ
各毛織物における収縮率の違い、フェルト化の認識
9. 総論 (講義) 1 コマ
アパレル素材論Ⅱ 総論

【評価方法】

S～C・F評価 (学業評価80% 授業姿勢20%)

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局／
「ワークブックアパレル素材論」文化服装学院教科書出版部／「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

講義、実験、演習や実習を行いながら素材知識を深める授業です。 文化服装学院専任講師/菅野 めぐみ

記載者氏名 菅野めぐみ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14272	科 名	ファッションテキスタイル科	2年	単 位	単位 1
科目コード	200900	科目名	テキスタイルプランニング		授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 工藤尚一	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションテキスタイル制作において、プランニングの重要性を理解する。素材の基本から最新の情報までを紹介し、「今求められているのは何か」を掴むことにより、明確な目的を持ったプランニングを目指す。あくまでも実学を志し、幅広い視野の知識を身に付け、豊かな発想力を生かせるように、総合的ノウハウを取得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ1 基本を学ぶ (5コマ)

「素材の特性」を学ぶことで、素材毎の強みと弱みを理解する。

「加工・機能性」実情を知るのとて、素材には何が求められているのかを知る。

長く使われている定番素材の理由や、国内の産地の特徴を学ぶことにより、業界の現状を把握する。

テーマ2 ファッション産業における国内外の現状、業界スケジュール、流通形態を解説。

最新の素材情報を基に、今何が求められているのかを知る。(2コマ)

テーマ3 国内外の最新素材展の情報を取得し、具体的な興味を深める。(2コマ)

素材展の見学、参加企業との懇談、できる限りリアル体験を目指す。

テーマ4 グループでプランニングをシュミレーションしながら、深く理解する。(5コマ)

大まかなプランニングの概要を学び、自ら具体的な演習を進行しながら、その都度起きる問題点、疑問点をチーム内で解決しながら、プランニングを理解する。

プレゼンテーション方法、ビジュアル化する工夫、理解されるプレゼン作業の実施。

【評価方法】

筆記テストはなく、毎回の授業に対する取り組む姿勢と意識、展示会見学後のレポート、グループワークのチームで発表するプランニングの完成度と途中のメンバーとのやり取りなどを含めた総合評価

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

- ・アパレルと小売りの両方で、品質管理を中心に35年以上の実務を経験。現在も百貨店に在籍。
- ・消費の現場に沿った素材の強みと弱みを習得した上で、小売りの現場で今求められているテキスタイルの特徴や機能を紹介。

記載者氏名 工藤尚一

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14272	科 名	ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	4 単位
科目コード	21210	科目名	プリントデザイン演習 I	授業期間	通年

担当教員(代表): 太田 繁	共同担当者: 飯塚 有葉＝デジタルプリント 玉田 愛海
----------------	--------------------------------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

手捺染によるスクリーンプリントとパソコンを使用したデジタルプリントのそれぞれの仕組みと特徴を把握し、繊維業界に通じる実践的な技術を修得することを目標とする。前期はスクリーンプリント・デジタルプリントともに、一連の演習で基礎技術を身につける。後期のスクリーンプリントは応用的なプリント・加工法を用い、デジタルプリントはパソコンの操作技術を向上させ、それぞれの技法で制作物の完成度を上げる。

シルクスクリーンプリント

①連続柄のプリント生地 (14 コマ) (講義・実習)

1. 捺染の版式／図案送りの種類と方法
2. 図案の型口／図案色分解・フィルムトレースの方法／図案データの作成方法
3. 製版前準備(紗のクリーニング・コーティング)／元糊作成方法
4. 写真製版(露光・水現像・型修正)／色出しの手順
5. 色糊の作り方／型合わせ・ポイントセットの手順
6. 布張り・印捺の方法／蒸熱・水洗・乾燥の方法
7. まとめ マップ作成

②修了制作 (13 コマ) (講義・実習)

1. 情報収集
2. 図案構成、製版
3. 試作
4. 印捺前準備、印捺、印捺後処理
5. まとめ マップ作成

デジタルプリント

①連続柄の作成 (10 コマ) (講義・実習)

1. デジタルプリントの特性、種類
2. Photoshop での連続柄作成方法
3. 連続柄作成実習
4. 生地の前処理、プリント、プリント後処理
5. まとめ マップ作成

②パネル柄の作成 (13 コマ) (講義・実習)

1. Illustrator の使用方法
 2. パターンのスキャニング、つなぎ合わせ
 3. 柄作成、パターンへの柄の配置、変形
 4. 生地の前処理、プリント、プリント後処理
 5. 裁断、縫製、まとめ マップ作成
- * ドレーピングの授業で作成したクリエイティブスカートのパターン使用

プレゼンテーション (4 コマ) (実習)

前期、後期とも最終日に実施
各自、制作物を発表

評価方法・対象・比重

制作物とプレゼンテーションの内容に重点をおき、出席状況や課題提出状況、授業態度も評価に含める。

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料 ・プリント生地標本 ・リソースセンター資料

記載者氏名 太田 繁

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA2	科 名	ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	4 単位
科目コード		科目名	ウィービングデザイン演習 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：野沢 彰

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1 年次のウィービング基礎実習で学習した基礎に加え、さまざまな織物技法を習得する。それらの知識や技術を用いてアパレルやファッション小物など製品の素材としてのテキスタイルを意識した織物制作を行う。

【授業計画】

織物の設計とデザイン（講義）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（2）

- ・ 1 年次の復習
- ・ 織物の構造と設計の関係

卓上織機による試織①（講義・実習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（7）

- ・ 多重組織を用いたサンプル制作
「風通織」「倍幅織」「たて二重織」「よこ二重織」

卓上織機による試織②（講義・実習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（10）

- ・ 特別組織、パイル組織を用いたサンプル制作
「蜂巢織」「よこパイル織」など

織機を用いない織技法（実習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・試織①②と同時進行

- ・ 裂き織り、カードウィービング

自由制作①（実習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（14）

- ・ 「試作・研究」「生地制作」など自由な織物設計、準備、制作

自由制作②（実習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（18）

- ・ 目的別テキスタイル制作（修了制作）

作品プレゼンテーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（1）

【評価方法】

学業評価80% 授業姿勢20% による総合評価

主要教材図書 「ハンドウィービング（手織りの実習）」文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

野沢彰：文化服装学院専任教授 当科目他「アパレル素材論」「テキスタイル産業論」などを担当

記載者氏名 野沢 彰

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA2	科 名	ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	501510	科目名	テキスタイル図案 I	授業期間	(通 年)

担当教員(代表) : 長谷川朋子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 前期は実技課題を通じてテキスタイル図案の基礎である送り（リピート）とは何かを学び、同時に制作過程において画材の取り扱い方・アイデアを表現するための技術を習得する。後期はテーマ別の図案作成により季節・ターゲット・用途などに合わせたデザインを考え表現する事で実務に生かせる能力を身につける。
--

【授業計画】
課題 1 : 基礎 1 送りの基本を講義 コラーージュによる図案作成 演習 1 コマ
課題 2 : 基礎 2 課題 1 の復習 コラーージュによる図案作成 演習 1 コマ
課題 3 : キャラクター 総柄図案作成 基礎課題の復習 送り、構図、バランスの確認 演習 2 コマ
課題 4 : 幾何 幾何構成図案作成 基礎課題の復習 画材・用具の使い方を習得 演習 3 コマ
課題 5 : ハンカチ ハンカチ・スカーフの送りの基本を講義 ハンカチ図案作成 演習 3 コマ
課題 6 : 手ぬぐい 文化祭バザー用の手ぬぐいの図案作成 演習 2 コマ
前期課題の講評
課題 7 : 植物 型口（ジョイント）の基本を講義 植物モチーフの図案作成 演習 4 コマ
課題 8 : 絵画作品の応用 絵画作品をテキスタイルパターンに应用・図案作成 演習 4 コマ
課題 9 : 片耳ボーダー 片耳ボーダーの送りの基本を講義 図案作成 演習 3 コマ
課題 10 : 自由制作 ターゲット・シーズン・アイテム設定 図案作成 演習 4 コマ
課題 11 : 復習 送り・型口の確認 図案作成 演習 1 コマ
後期課題の講評

【評価方法】 S～C・F 評価 評価基準 : 学業評価 90% 授業姿勢 10% 学業評価＝実技課題作品提出

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 図案サンプル 課題資料（講師作成）

授業の特徴と担当教員紹介 特徴 : 実習を通してテキスタイル図案の作成技術を身につける 担当教員 : 女子美術大学工芸専攻卒業 染織作家としての活動と並行し図案アトリエに勤務後独立 2018 年(同)MoDeLab 設立 2005 年より非常勤講師

記載者氏名 長谷川朋子

2024年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード	14272	科名	ファッションテキスタイル科	2年	単位	4
科目コード	22020	科目名	テキスタイルクリエイション	Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表): 宇田川泰裕	共同担当者: 玉田愛海
-----------------	-------------

概要(教育目標) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
デザインやアイデアを実現する。目的を実現するための技術を個々が学ぶ中で、その達成のために様々な実験を行い、知識や技術を学ぶと共に、クラス内で製作する作品の経験を共有しつつ、テキスタイル表現の多様性を学ぶと共に、製作におけるそれらの経験を重ねることにより、具体的なデザインの方法を学ぶ。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先	
<p>〈前期授業〉オリジナル製作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企画を立てる (講義・実習内にて) 2. 企画プレゼンテーション 3. サンプル製作 4. 制作プレゼンテーション 5. 本製作 6. 完成プレゼンテーション 	<p>講義・実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 反応染料によるプリント 2. 顔料によるプリント色合わせ
<p>〈後期授業〉オリジナル製作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企画プレゼンテーション 2. 素材製作 本製作 3. 修了プレゼンテーション 	<p>講義・実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 反応染料の無地染め 2. 顔料抜染 3. 各種顔料プリント 4. 塩縮 5. リップル
<ol style="list-style-type: none"> 1. 他学校の卒業製作見学 2. 各種工場見学 	<ol style="list-style-type: none"> 6. 反応染料防染プリント

評価方法・対象・比重
各実習ごとのレポート及びポートフォリオなどの提出物・出欠席・プレゼンテーションの内容・素材や服等のオリジナル製作物

主要教材図書
文化ファッション大系 服飾関連専門講座③「アパレル染色論」
参考図書 なし
その他資料 なし
授業の特徴
自由な発想でのテキスタイルクリエイションを校内の設備を活用して行う。
担当教員紹介
奥田染工場 企画製造。多種の染色技術を保有すると共に、テキスタイルを中心とした生産及び企画、全国の産地と連携したものづくり、メディア制作等を行っている。
記載者氏名 宇田川 泰裕

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA2	科 名	ファッションテキスタイル科2年生	単 位	2単位
科目コード		科目名	自由研究Ⅱ	授業期間	通年（隔週）

担当教員（代表）： 野沢 沙予	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）
各自が研究テーマを決めて、歴史、特徴、技法、デザインなどの情報収集、資料活用し実物作品製作やサンプルのファイル資料作成。
また、各コンテスト活動、コラボレーションにも積極的に参加実習することを目的とする。

前期 1 単位 後期 1 単位 26コマ

- 各自が今まで学んだことの中から、さらに掘り下げて研究したいことや製作したいもの。
また、新しく興味のあるものについて調べまとめる。
（例）・ファッション
・トレンド
・テキスタイル
・カラー
・テキスタイル産地について
・テキスタイルの伝統技術 など
（テーマの確認、個別相談、点検）
- テキスタイルと連動する服飾造形や修了作品などへの活用
- 各、コンテストのデザイン制作、コラボレーション企画（資料収集、実習を含む）
2024年度、コンテスト・コラボレーション予定
・ジャパンテキスタイルコンテスト
・トマト プリント生地デザイン
・学内コンテスト工芸部門
・(株)BVLAK、AD2年 丸編みニットのテキスタイル加工
・MNインターファッション(株) BRICO サステイナブル素材の加工、作品製作

評価方法・対象・比重

評価基準：S. A. B. C. F評価、学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価＝平常成績（授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価）など

授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 野沢 沙予

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA2	科 名 ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	4 単位
科目コード	科目名 服飾造形Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：野沢 沙予	共同担当者：
----------------	--------

<p>概要</p> <p>パンツとワンピースを制作しその構造を理解する。 作図理論・パターン展開方法を把握し基本的な縫製技術を習得する。 各自が制作したオリジナルテキスタイルを全体的または部分的に使用させる。</p>
--

<p>前期 2 単位 後期 2 単位 5 2 コマ</p> <p>(前期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パンツ 2 6 コマ ・ 一般知識 ・ 作品制作 ・ レポート提出 ・ プレゼンテーション発表 <p>(後期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワンピース 2 6 コマ ・ 一般知識 ・ 作品制作 ・ レポート提出 ・ プレゼンテーション発表

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>評価基準：S. A. B. C. F評価、学業評価80%、授業姿勢20%</p> <p>※学業評価＝平常成績（授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価）など</p> <p>授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p>文化ファッション大系 服飾造形講座②スカート・パンツ／服飾造形講座③ブラウス・ワンピース</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料 コスチュームリソースセンター標本</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テキスタイルに特化した衣服製作 ・ 文化服装学院専任講師担当
--

記載者氏名 野沢 沙予

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA2	科 名	ファッションテキスタイル科2年	単 位	1単位
科目コード		科目名	ドレーピングⅡ	授業期間	通年

担当教員(代表)： 野沢 沙予	共同担当者：
-----------------	--------

概要

立体裁断の基本的考え方、基礎的技術・知識を理解させる。

布目の重要性・ボディとパターンの関係、ドラフティングの仕方、平面から立体への布のとりえ方、視覚訓練の重要性。

立体裁断の基礎、ゴアードスカート、プリンセスラインのワンピースドレス

前期0.5単位 後期0.5単位 14コマ

(前期)

1・ゴアードスカート 7コマ

- ・縦切り替えのスカートのドレーピング
- ・ゆとりとフレアのバランス
- ・ベルト左脇あき
- ・ピン打ち、ドラフティング、パターンチェック、ファーストパターン作成、再組み立て

(後期)

2・プリンセスラインのワンピースドレス 7コマ

- ・縦切り替えのワンピースのドレーピング
- ・サイド・ダーツ、肩ダーツの身頃
- ・袖…セットインスリーブ
- ・ピン打ち、ドラフティング、パターンチェック、ファーストパターン作成、再組立て
- ・身頃提出後、衿各種（スタンドカラー、フラットカラー、シャツカラー）ドレーピング

評価方法・対象・比重

評価基準：S.A.B.C.F評価、学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価＝平常成績（授業内での応答、課題作品・実技の評価）など

授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

主要教材図書

・文化ファッション大系 アパレル生産講座 「立体裁断 基礎編」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

・テキスタイルに特化した立体裁断方法 ・文化服装学院専任講師担当

記載者氏名 野沢 沙予

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA2	科 名 ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	1
科目コード 501820	科目名 色彩論・演習Ⅱ	授業期間	前期

担当教員(代表)：岡山文香	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定）

色彩論・演習Ⅰで習得した色彩の知識や技術を基礎とし発展的に学習する。
テキスタイルの実際制作において必要と考えられる色再現（混色）に対する知識、技術を高めることを目標の一つとする。
また、市場やメディアからのファッション情報を前提とした色彩計画の考え方について演習を通して学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | |
|-----------------|--|----------------|
| 1. 概論 | 産業における色彩の役割 | (講義および演習 1 コマ) |
| 2. 配色 | 色相・トーンによる配色／ファッションカラーコーディネート（復習）
色彩調和論
配色ファイルの作成 | (講義および演習 5 コマ) |
| 3. 色再現 | 混色による色相環、トーンの作成
混色ノートの作成 | (講義および演習 4 コマ) |
| 4. 色彩とコミュニケーション | 慣用色名と系統色名／カラーシステムとカラーコード
色名ファイルの作成 | (講義および演習 3 コマ) |

評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書 『ファッション色彩Ⅱ』『ファッション色彩Ⅰ』（文化出版局）

参考図書

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介

テキスタイルでの色彩のかかわりを演習を通じて実践的に学習していく。

記載者氏名 岡山文香

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA2	科 名	ファッションテキスタイル科 2年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	ファッションデザイン画 II	授業期間	通年

担当教員(代表)：河西 恵美子

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】 デザイン表現のアイディアの可能性を様々な角度からインスピレーションを展開していきながら、着装デザインの表現テクニックを身につけることを目標とする。

個々のオリジナリティを広げられるようなデザイン表現を探っていく。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

【発想デザイン】…(3.5 コマ)

- 画家の作品を通して色彩の混色や構図、イメージ発想したデザインを着装表現にする。

【ポーズ】…(1.5 コマ)

- プロポーションの確認、個々の表現の苦手な部分のバランスを再認識し表現していく

【形からのデザイン展開】…(4 コマ)

- 形状類似の資料収集からの探求、インスピレーションアイディアをデザインの可能性に探り表現

【ディティール研究】…(3 コマ)

- 素材から作り出すディティールや興味あるディティールの写真資料等様々に、ファッションデザインの新たな提案に表現できるディティールの表現を探る

【素材表現】…(2 コマ)

- 特殊なクロコやヘビ(パイソン)等の皮革素材の描き方、羽根やパーツ類・コサージュの表現などデザインを効果的に用いるためのスキルを習得

【オリジナル図案デザイン】…(4 コマ)

- 各自自由なテーマを設定し、様々な角度からオリジナル図案の効果的な着装デザインの表現をする

【修了作品】…(6 コマ)

- オリジナルデザインをB3パネルに表現。アイディアとこれまでのスキルを活かし構成をまとめる。合わせて校内ファッション画展に出品する作品としていく

【コンテスト応募】…(1 コマ)

- 学内工芸部門デザインコンテスト(随時、他の応募デザインの対応もしていく)

【時間内課題】…(1 コマ) 早描きの実習

【評価方法】[S～C・F評価]

評価基準：学業評価80%(課題作品提出物と後期試験)、授業姿勢20%(出欠状況、授業態度を考慮)

主要教材図書

参考図書：文化ファッションデザイン画教科書、個々にリサーチした各分野での専門書やカタログ等

その他資料：ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等

授業の特徴と担当教員紹介 [特徴]…ファッションデザイン画の技術習得。個々のオリジナリティ表現と企画構成へのクリエイションの展開。 [担当教員]…学院のF・デザイン専攻科卒業後、専任講師として勤務。その後、ジュエリー会社にてデザイナーを経て、現在非常勤講師として勤務。

記載者氏名 河西 恵美子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA2	科 名	ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	ファッションマーケティング	授業期間	(前期)

担当教員(代表)： 澤住 倫子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションマーケティング、マーチャンダイジングへの理解を深める。
ブランド開発をもとに戦略立案から商品企画、プレゼンテーションまで行う事でその知識を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションマーケティング入門 (1 コマ) . . . 講義

- ①オリエンテーション ファッションと衣服の関係とデザイナーとファッションビジネス

II. 情報活動について (1 コマ) . . . 講義

- ①情報活動の位置付けと重要性について 情報の種類と活用について

III. ファッション企業研究 (4 コマ) . . . 講義・演習

- ①ファッション企業の今後を考える
- ②店舗調査を行い現状を把握する
- ③SWOT 分析を行い差別化のための戦略を考える

IV. 新ブランド開発 (7 コマ) . . . 講義・演習

- ①ブランド戦略と意思決定について
- ②ブランド設定の方法
 - ・コンセプト設定・アイテム計画・デザインマネージメント
- ③市場細分化とターゲット分析
 - ・企業運営における市場細分化の意味
 - ・ライフスタイル分析の手法とプロフィール化
- ④プレゼンテーション
 - ・プレゼンテーションの方法について

【評価方法】

提出物 60% 出席状況 40%

主要教材図書

参考図書 服飾図鑑・ファッション情報誌・各種業界新聞など

その他資料 図書館・リソースセンター作品、映像など

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住倫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッションテキスタイル 2年	単 位	単位
科目コード	科目名	染織文化論I	授業期 間	2 通年

担当教員(代表)：高橋淑恵	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

日本の染織文化について年代を追って歴史的に解説する。また、日本の染織文化に影響を及ぼした中国や東南アジアなどの東洋の染織文化や西洋の染織文化のつながりについて触れることにより、深い理解と見識を広げ、染織の文様や知識を身につけることを目指す。様々な染織の知識はテキスタイルを考えるうえで応用できる基礎的な力を育てることを目標とする。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
染織文化の始まり	講義	1	沖縄の染色 紅型 藍型	演習	2
古代の天然染色	講義	1	沖縄の織物	講義	1
織物の始まり 原始機について	講義	1	江戸時代の染織と文様 吉祥文様	講義	1
飛鳥時代の染織と文様	講義	1	アジアの染色と紋様 イカット	講義	1
奈良時代の染織と文	講義	1	貝紫について	講義 演習	2
シルクロードについて	講義	1	総まとめ	講義	1
平安時代の染織と文様	講義	2	テスト		
鎌倉時代の染織	講義	1			
日本の家紋と西洋の紋章	講義	1			
中国の染織 龍文様	講義	1			
室町時代の染織と文様	講義	1			
安土桃山時代の染織と文様	講義	2			
小袖の発生と発展	講義	1			
小袖の文様	講義	1			
江戸時代の染織と文様 歌舞伎衣装	講義	2			

【評価方法】

ペーパーテスト 90% 出席・提出物 10%

授業の特徴と担当教員紹介

日本やアジアの染織文化について画像や映像を用い、また実物のサンプルがある場合は実際に手にとって理解を深める。

主要教材図書 なし

参考図書 織りと染めの歴史 日本編 河上繁樹 藤井健三著

その他資料 プリント

記載者氏名 高橋淑恵

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA 2	科 名	ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	キャリア開発Ⅱ	授業期間	(後 期)

担当教員(代表)：長谷川直美

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・就職活動に必要な、「考える」「聴く」「書く」「話す」「伝える」などのコミュニケーションスキル・プレゼンテーションスキルを、講義＋実習を通して身につけさせる

【授業計画】

◎各テーマ所要コマ数 1 コマ

1. 自分のことを理解する・成長目標設定
2. キャリア開発について考える・ポートフォリオ作成
3. 社会を知る（企業研究）
4. 就職活動の基本（ビジネスマナー・就職活動の心構えについて）
5. エントリーシートの書き方（学生時代に力を入れたこと）
6. エントリーシートの書き方（自分の強み）
7. 履歴書の書き方
8. 履歴書作成
9. ビジネスマナー（言葉遣い、身だしなみ、立ち振る舞い）
10. ビジネスマナー（電話、メール、手紙）
11. 作品プレゼンテーション
12. プレゼンテーションスキルの習得と実践
13. 面接（個人、集団、web 面接）・まとめ

◎授業方法

- ・毎回各自が決めたテーマに基づき「考える」「書く」「まとめる」「伝える」「聴く」作業を行う
- ・自分の意見を主張する、相手の意見に耳を傾ける経験から社会で求められているコミュニケーションスキルを身につける
- ・講義、実習を繰り返し、就職活動に求められる効果的なプレゼンテーションができるよう各自が設定した成長目標を達成する

【評価方法】

出席、授業への参加姿勢、課題提出により総合的に評価

主要教材図書 就職対策テキスト・プリント

参考図書 その都度指示

その他資料 新聞等の時事関連資料

授業の特徴と担当教員紹介

「就職活動に必要な力」と「社会人になって求められる力」を、講義と実習を通して習慣化するまで、学生一人一人の特徴に合わせて繰り返し指導する

記載者氏名 長谷川直美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA2	科 名 ファッションテキスタイル科2年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 特別講義Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：杉山 美和	共同担当者：
----------------	--------

概要

通常カリキュラムの範囲外における、テキスタイルに関する情報や知識を学ぶ。
テキスタイル関連、素材、デザイン、ファッション、アパレル、トレンド分野

通年 1 単位

講義・演習 15 コマ

藍染	新島大吾	3 コマ
ウールマーク		
インスパイアリングセミナー	ウールマーク協会	1 コマ
仕事の現場①	講師未定	2 コマ
仕事の現場②	講師未定	2 コマ
流行色・トレンド解説	小木曾珠希	2 コマ
ブランド立ち上げから現在	横山英也	1 コマ
issey miyake の世界	宮前義之	1 コマ
TANAKA=FUMIE のクリエイション	田中文江	1 コマ
コンピューターニットについて	土井健太郎	1 コマ
3D CAD	宮澤国博	1 コマ

※変更の場合あり

評価方法・対象・比重

評価基準：P評価、学業評価80%、授業姿勢20%
学業姿勢・出席状況を基に、履修認定の是非を決定する
授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

・テキスタイルに特化した特別講義 ・文化服装学院専任講師、外部講師担当

記載者氏名 杉山 美和

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA2	科 名 ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 校外研修	授業期間	前期

担当教員(代表)：杉山美和、野沢沙予	共同担当者：
--------------------	--------

概要

学外にてテキスタイル産地・業界を見聞することにより視野を拡げ、より多くの専門的な知識を得ると共に就職を見据えてテキスタイルの専門分野を習得する。
ファッション工芸課程各科の専門分野に特化した研修先へも訪問。

前期 1 単位

研修 1 3 コマ

2 年生…5/29(水)～5/31(金) 備州地方

1 日目 ・企業見学…トーホー(株)

2 日目 ・企業見学…カイハラ産業(株)吉舎工場、(株)ニチマン、(株)藤井製帽

3 日目 ・施設見学…Dove & Olive Shop …BD2 のみ
・倉敷美観地区

評価方法・対象・比重

評価基準：P 評価、研修評価 80%、研修姿勢 20%

研修姿勢＝出席状況、研修内提出状況

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

・テキスタイル産地研修 ・文化服装学院専任講師、外部講師担当

記載者氏名 杉山 美和

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA2	科 名 ファッションテキスタイル科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 企業研修	授業期間	前期

担当教員(代表)：杉山美和、野沢沙予	共同担当者：
--------------------	--------

概要

学外にてアパレル、テキスタイル企業の研修することにより、専門的な知識を得ると共に就職を見据えた社会性を研修とおして習得する。学外、学内研修先を選択する。

研修期間 2025 年 2/3(金)～2/14(金)

後期 2 単位

研修 2 6 コマ

- ・キャリア支援室紹介による研修先
- ・自己開拓による研修先
- ・学内研修
- ・研修報告会

評価方法・対象・比重

評価基準：P評価、研修評価80%、研修姿勢20%

授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

・アパレル、テキスタイル企業研修 ・外部講師担当

記載者氏名 杉山 美和

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA3	科 名	ファッションテキスタイル科	3 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	テキスタイルマーチャンダイジング		授業期間	(通年)

担当教員(代表)：柳原うたえ	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

分業によって成り立つテキスタイル業界の構造と、繊維産地における企画・製造について解説していきます。社会分析と自己分析を深め、社会に向けユニークな企画提案・販売設計ができることを目標とします。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

講義授業 / スライド(Microsoft Office PowerPoint)使用

- | | | | |
|-----------------|-------|-------|-------------------------|
| 1. テキスタイル×自分 | (3コマ) | 講義・実習 | テキスタイルとの関係性を可視化・発表 |
| 2. テキスタイル経済 | (2コマ) | 講義 | テキスタイル製造からアパレル製造までの流れ |
| 3. 産地のものづくり | (5コマ) | 講義・実習 | 日本各地の産地解説・演習 |
| 4. 企画提案のかたち | (3コマ) | 講義 | 海外と日本の企画提案・比較解説 |
| 5. テキスタイル企画実習 | (6コマ) | 講義・実習 | 企画提案・発表 |
| 6. 授業内小テスト | (1コマ) | | |
| 7. 素材×サステナビリティ | (1コマ) | 講義 | 生産者としてサステナビリティを考える・校外視察 |
| 8. テキスタイル製品企画実習 | (3コマ) | 講義・実習 | 企画提案・発表(グループワーク) |
| 8. ものづくりと社会生活 | (2コマ) | 講義 | 環境問題・雇用問題などを考える |

【評価方法】

S～C・F 評価

評価基準：学業評価…80% 授業姿勢…20%

主要教材図書	特になし
参考図書	特になし
その他資料	各繊維産地組合 HP

授業の特徴と担当教員紹介

繊維産地でのキスタイル企画製造に従事してきた知見から、実際のものづくりや国内外への提案の仕方を解説していきます。文化服装学院ファッションテキスタイル科卒業後、地方繊維産地にて織物製造に従事。2022年から文化服装学院講師。

記載者氏名 柳原うたえ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッションテキスタイル科 3 年生	単 位	4 単位
科目コード	科目名 プリントデザイン演習Ⅱ	授業期間	(前期)

担当教員(代表): 杉山美和	共同担当者: 飯塚有葉
----------------	-------------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 プリントデザインの流れは、その時の社会状況を反映し、時には時代のトレンドをリードしている。
 ファッションのためのテキスタイルとして、デザイン発想を通し知識や技法、思想を知ることによって各自のプリントデザインの布地製作に活かしていくことを目的とする。

1. プリントデザイン発想 ①～⑫
 花柄、ハート、ドット、ポップアート、北欧柄、他全 12 のデザイン発想
 (12コマ)(講義・実習・講評)
2. 3D モデリング
 モデリングの基礎、コップ、野菜、回転体、オリジナルキャラクター作成、
 ライティング、レンダリング
 (11コマ)(講義・実習)
3. 新たなプリント加工方法 ①～⑦(全体実習)
 藍染めプリント、草木染めプリント、抜染プリント、他全7種類のプリント実習
 (7コマ)(講義・実習)
4. 卒業制作に向けたプリント生地製作
 各自の必要量をプリント実習
 (29コマ)(講義・個別相談・点検・実習)
5. プレゼンテーション準備、発表
 各自、制作物を発表
 (4コマ)(講評会)

評価方法・対象・比重 ① 学業評価 80% 授業姿勢 20%
 制作物とプレゼンテーションの内容に重点を置き、出席状況や課題提出状況、授業に対する学習姿勢も評価に含める

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書 各課題に関する資料(ポップアート、マリメッコ、北欧プリント柄、和柄、他)

その他資料 プリント生地のサンプル、図案標本、DVD、Blender3.5 他

記載者氏名 杉山美和

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA3	科 名	ファッションテキスタイル科 3 年	単 位	3 単位
科目コード		科目名	ウィービングデザイン演習Ⅱ	授業期間	前期

担当教員(代表)：野沢 彰

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】1、2年次の「ウィービング基礎演習」「ウィービングデザイン演習Ⅰ」で学んだ織物の設計と構造、デザインに関する知識と技術を踏まえ、アパレル製品などの素材として、織物を量産する立場から捉えられるよう指導する。同時に新たな織物デザインの可能性をさまざまな面から追求する。

【授業計画】

ドビー織機による布地制作のためのガイダンス・・・・・・・・・・・・・・(4)

- ・「文化ファッションテキスタイル研究所」見学
- ・研究所所長 宮本 英治 先生 特別講義

ドビー織機による布地制作試織・・・・・・・・・・・・・・(18)

- ・試織設計と準備
- ・試織（文化ファッションテキスタイル研究所）
- ・試作サンプル集の作成

修了制作準備・製織・・・・・・・・・・・・・・(30)

- ・ドビー織機を用いた卒業制作用織物制作
- ・ドビー織機を用いたサンプル織物制作
(以上、文化ファッションテキスタイル研究所織機使用)
- ・手織機を用いた卒業制作用織物制作
(校内設備を使用)

【評価方法】

学業評価80% 授業姿勢20% による総合評価

主要教材図書 「ハンドウィービング（手織りの実習）」文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

野沢彰：文化服装学院専任教授 当科目他「アパレル素材論」「テキスタイル産業論」などを担当

記載者氏名 野沢 彰

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA3	科 名	ファッションテキスタイル科3年	単 位	2単位
科目コード	501520	科目名	テキスタイル図案Ⅱ	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：長谷川朋子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 2年次の演習の上にさらに独自の発想を表現できるレベルに技術を向上させ、テーマ別にターゲット・季節など使用するシーンをこまかく設定した図案を作成することで繊維業界における図案の実際を学ぶ。 プリント演習・服飾造形等他の授業と連携し図案作成からプリント、縫製まで服作りの流れを習得する。

【授業計画】		
課題1：花 デッサン及び色彩表現		
花モチーフのテキスタイルパターンにおける表現を考察	演習	3コマ
課題2：企業コラボ コラボ商品の企画 図案作成	演習	3コマ
課題3：2025SS 既存のブランドのコレクション向けプリント企画 図案作成	演習	3コマ
課題4：スポーツ スポーツブランド向けのプリント企画 図案作成	演習	3コマ
課題5：手ぬぐい 文化祭バザー用の手ぬぐいの図案作成	演習	2コマ
前期課題講評 課題4まで		
課題6：エスニック 民族衣装からの応用 図案作成	演習	4コマ
課題7：2025AW ECサイト・量販向けのプリント企画 図案作成	演習	3コマ
課題8：自由制作 ブランド設定 1シーズン分のテキスタイル企画 図案作成	演習	4コマ
後期課題の講評 課題6から8	講義	1コマ

【評価方法】 S～C・F評価 評価基準：学業評価90% 授業姿勢10% 学業評価＝実技課題作品提出
--

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 図案サンプル 課題資料（講師作成）

授業の特徴と担当教員紹介 特徴：実習を通してテキスタイル図案の作成技術を身につける 担当教員：女子美術大学工芸専攻卒業 染織作家としての活動と並行し図案アトリエに勤務後独立 2018年(同)MoDeLab 設立 2005年より非常勤講師

記載者氏名 長谷川朋子

科コード GA3	科 名 ファッションテキスタイル科3年	単 位	4
科目コード	科目名 テキスタイルクリエイション III	授業期間	後期

担当教員(代表)：太田 繁	共同担当者：杉山 美和
---------------	-------------

教育目標・レベル設定など

1・2年次で学んだテキスタイルに関する知識、技法を活かし3年次の課題としてトレンドを意識したテキスタイルを制作する。各自がテキスタイル企画から制作までを行い、企画力や技術をスキルアップし卒業制作に活かすことを目的とする。

1. 新たな素材加工の解説と実習 ①～⑧

塩縮加工、リプル加工、リプルプリント、錆染めなど他全8種類の素材加工実習

実習を通して得た素材加工の知識や技法を、応用や組み合わせで新たなオリジナル素材を制作し卒業制作などに連動することを目的とする

(8コマ)(講義、実習)

2. 卒業制作に向けた素材制作

各自のテーマから、染色・プリント・加工・ウィービングなどの技法を用いて、テキスタイル素材を制作し卒業制作に連動する

(40コマ)(講義・個別相談・点検・実習)

3. プレゼンテーション準備、発表

各自、制作物を発表

(4コマ)(講評会)

評価方法・対象・比重 ① 学業評価 80% ② 授業姿勢 20%
制作物、 レポート

主要教材図書
文化ファッション大系3 アパレル染色論

参考図書

その他資料 各素材サンプル

記載者書名欄 杉山美和

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA3	科 名	ファッションテキスタイル科	単 位	2 単位
科目コード		科目名	テキスタイル商品企画	授業期間	通年

担当教員(代表)：宮本英紀	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ストール作りに必要な素材の知識や、即戦力になる応用的な織組織を学ぶ。
グループに分かれてブランドを立ち上げ、ストールを企画して仕上げ、プレゼンを行う。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
様々なストール製品に触れる	講義	1
素材・織物の立体性・織組織等の学習	講義	7
各自織組織考案・織られた生地に触れる	講義	5
ブランド立ち上げ・ブランドコンセプト考案	グループ活動	3
ストール企画・試作	グループ活動	7
ストール製作	グループ活動	2
ストールプレゼン	グループ活動	1

【評価方法】

制作物とプレゼンテーションの内容に加え、出席状況を評価に含める。

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 ストールサンプル・生地サンプル等

授業の特徴と担当教員紹介

織物を立体として捉え、応用的な知識を得て商品作りに活かす授業。
宮本英紀：織物工場で6年間働いた後、文化・ファッションテキスタイル研究所の研究員となる。

記載者氏名 宮本英紀

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA3	科 名 ファッションテキスタイル科3年	単 位	4単位
科目コード	科目名 服飾造形Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：杉山美和	共同担当者：
---------------	--------

概要

ジャケットとコートを制作しその構造を理解する。
 作図理論・パターン展開方法を把握し基本的な縫製技術を習得する。
 各自が制作したオリジナルテキスタイルを全体的または部分的に使用させる。

前期2単位 後期2単位

(前期) 26コマ

・ジャケット 26コマ

- ・一般知識(一重・裏なし)
- ・作品制作
- ・レポート提出
- ・プレゼンテーション発表

(後期) 26コマ

・コート 26コマ

- ・一般知識(一重・裏なし)
- ・作品制作
- ・レポート提出
- ・プレゼンテーション発表

評価方法・対象・比重

評価基準：S.A.B.C.F評価、学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価＝平常成績(授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価)など

授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾造形講座④ジャケット・ベスト／服飾造形講座⑤コート・ケープ

参考図書

その他資料 コスチュームリソースセンター標本

授業の特徴と担当教員紹介

・テキスタイルに特化した衣服製作 ・文化服装学院専任講師担当

記載者氏名 杉山 美和

科コード	科 名 ファッションテキスタイル科	単 位	単位 2
科目コード	科目名 ファッションデザイン画Ⅲ	授業期 間	通年

担当教員(代表)：

水野雅己

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションデザイン画に求められる技術・知識・感性の要素をカリキュラムに配分し課題ごとに構成。
学生が自らのアイデアを具体的に表現できる実力を育成する。

【授業計画】

前期 1～5

1. オリエンテーション
年間授業内容の説明、学習意欲を持たせる ----- 1コマ
2. 仕様書用アイテム製品図の描き方 ----- 2コマ
3. 柄／テキスタイル図案からのファッションデザイン ----- 4コマ
4. 素材表現（デニム、ファー、革、ニット等） ----- 4コマ
薄物から厚物の実物素材を感じさせる彩色技術の習得
5. クリエーションブック（夏期課題含む） ----- 2コマ
興味のある分野を独自の世界観にデザイン展開しポートフォリオにまとめる能力を磨く。

後期 6～9

6. デザインの原則 ----- 2コマ
黄金分割からのファッションデザイン
7. シンメトリー・アシンメトリー ----- 2コマ
デザイン論を基に形の左右対称、非対称を理解しファッションデザインに展開する。
8. クリエーションブックⅡ ----- 4コマ
9. 修了作品／校内ファッション画展 ----- 5コマ
指定された制作条件の基に、これまで習得した感性の成果をファッション画でまとめる。

【評価方法】

提出課題作品、学年末試験、出席状況、授業態度

授業の特徴と担当教員紹介

卒業学年の授業として学生の就職活動をサポートできる課題を設定。学生の能力を引き出すために、学生に寄り添う指導を目指すとして理解しやすいデモンストレーションと提出物の丁寧な添削を行う。

主要教材図書

参考図書

その他資料 Fashion Drawing Basic

記載者氏名

水野雅己

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA3	科 名 ファッションテキスタイル科 3年	単 位	2単位
科目コード	科目名 染織文化論Ⅱ	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 原田 弘美	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

古代から現代まで時代背景に基づきながら、西洋染織の変遷と特徴を解説します。
各時代の染織模様の由来や象徴性について理解を深めるとともに、過去の染織から学んだ知識を新たなデザイン発想へと展開させ、さまざまな分野のテキスタイル制作に応用させることを目標とします。

【授業計画】

講義授業 / スライド(Microsoft Office PowerPoint)、DVD 使用

1. 織物の起源 (2コマ) 天然素材の流通と古代染料
2. 古代の染織 (2コマ) コプトの綴れ織
プレ・インカの染織
3. 中世の染織 (4コマ) 絹の伝来とビザンチンの染織
布地の紋章
ゴシックの染織
4. 近世の染織 (7コマ) ルネサンスの染織とタペストリー
バロックの染織とヨーロッパのレース
ロココの染織
インド更紗の流行とプリントの発展 フランス更紗
5. 近代の染織 (6コマ) アンピールの染織とカシミールショール
イギリス更紗とウィリアム・モリスのデザイン
アール・ヌーボー様式の特徴と染織
6. 現代の染織 (5コマ) アール・デコ様式の特徴と染織
ファッションデザイナーとテキスタイルデザイン
モダンアートとテキスタイル
まとめ

【評価方法】

S～C・F評価 学業評価…85% 授業姿勢…15% ※左記を目安に総合的に評価します

主要教材図書 「西洋染織模様の歴史と色彩」 著者:城 一夫 発行所:(有)プロシード

参考図書 「リヨン織物美術館」第1巻～第3巻 監修:ジャン＝ミシェル・テュシュレル 発行所:(株)学習研究社

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴:西洋染織の変遷とともに、過去の染織と現代ファッションを関連づけて講義をします。
教員紹介:1994年より文化服装学院非常勤講師。他に「西洋服装史」を担当。

記載者氏名 原田 弘美

2024年度カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA3	科名 ファッションテキスタイル科3年	単位	1
科目コード 40000	科目名 アパレル品質論	授業期間	通年 隔週

担当教員(代表): 吉村 とも子	共同担当者:
------------------	--------

教育目標・レベル設定など
テキスタイルやアパレルの企画、製造、販売における品質管理に関する知識を習得し、「関連する法律を理解し遵守する」「お客様の要求品質を満たす」ための活動ができることを目標とする。 講義と演習により理解を深める。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、			
1. アパレルと品質管理	講義	1 コマ	
・アパレルに求められる品質			
・アパレルの製造工程別管理			
2. 品質評価試験(実用性試験)と評価			
・品質評価試験の種類および品質基準			
・染色堅牢度試験	講義・演習	4 コマ	
・寸法変化試験			
3. アパレルの品質表示と法規制	講義	4 コマ	
・義務表示 家庭用品品質表示法	繊維製品表示規程		
	雑貨工業品表示規程		
・関連する法規制	不当景品類及び不当表示防止法		
	安全性に関わる法規制		
	製造物責任法	等	
4. アパレル製品の取扱い	講義及び実習	3 コマ	
・耐洗濯性: 家庭洗濯			
	商業洗濯 ウエットクリーニングとドライクリーニング		
・特殊クリーニングについて			
・保管			
・耐薬品性(しみ抜き実験)			
5. アパレル製品の保証と製品事故	講義	1 コマ	
・商品の保障			
・製品事故の種類と原因・対策			
計: 13 コマ			

評価方法・対象・比重	学業評価＝各期末試験の得点、平常成績(授業内での応答、課題の評価)80% 授業姿勢＝出欠状況、授業課題提出状況など20%とし、総合評価する
------------	--

主要教材図書	
教科書:	ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座①「アパレル品質論」文化出版局発行
参考図書	
その他資料	
授業の特徴と担当教員紹介	
吉村とも子	文化女子大学(現文化学園大学)卒業。文化服装学院勤務、現在講師。

記載者書名欄	吉村とも子
--------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA3	科 名	ファッションテキスタイル科 3 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	ピンワーク	授業期間	前期/後期 B 週

担当教員(代表)： 原田 華江	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ピンワーク習得を通して素材の特性を理解し、平面から立体への表現を実感する事で発想や創造力の幅を広げる。
- ・テキスタイルの展示会を想定し、企画～資料作成～プレゼンテーション～演出までを身につけ現実的な意識を高める。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. ピンワークについての概要と基本 (ピンワークの歴史と現在をスライドにて説明) (ボディを使用したアンビエ、ドゥブルビエ)	講義・実習	2
2. ピンワークの基本 (マネキンを使用したアンビエ、ドゥブルビエ)	講義・実習	2
3. ピンワークの基本 (マネキンを使用したドレープ)	講義・実習	2
4. ピンワークの基本 (マネキンを使用したタッキング)	講義・実習	2
5. ピンワークの基本 (マネキンを使用したギャザリング)	講義・実習	2
6. 基礎技術のまとめ (習得したテクニックを使用したミニテスト)	講義・実習	2
7. ピンワークの応用 (立体と平面の構成について) (紳士生地のピンワーク)	講義・実習	2
8. ピンワークの応用 (ウール生地とファッション雑貨の平面ピンワーク)	講義・実習	2
9. ピンワークの応用 (マネキン2～3体構成にウールのピンワーク)	講義・実習	2
10. ピンワークの応用 (卓上空間での自作生地のピンワーク)	講義・実習	2
11. ピンワークの応用 (異素材のピンワーク実習)	講義・実習	2
12. テキスタイルの仮想展示会の企画書作成 (展示会の企画書を各自作成・試験はグループ毎に実施)	講義・実習	2
13. テキスタイル企画書プレゼンテーション ピンワーク演出試験	講義・実習	2

【評価方法】

①S～C・F 評価 評価基準: 学業評価 80% 授業姿勢 20%

主要教材図書	
参考図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座 8 ディスプレイ・VP・VMD
その他資料	個人資料
授業の特徴と担当教員紹介	
記載者氏名	原田 華江

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA3	科 名 ファッションテキスタイル科3年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：杉山 美和	共同担当者：
----------------	--------

概要

通常カリキュラムの範囲外における、テキスタイルに関する情報や知識を学ぶ。
テキスタイル関連、素材、デザイン、ファッション、アパレル、トレンド分野

通年 1 単位

講義・演習 15 コマ

藍染	新島大吾	3 コマ
ウールマーク		
インスパイアリングセミナー	ウールマーク協会	1 コマ
仕事の現場①	講師未定	2 コマ
仕事の現場②	講師未定	2 コマ
コンピューターニット	土井健太郎	1 コマ
ショー構成と演出	澤谷目童	2 コマ
3D CAD	宮澤国博	1 コマ
ブランド立ち上げから、今	横山英也	1 コマ
FUMIE=TANAKA のクリエイション	田中文江	1 コマ
FIL の仕事	藤井慶知	1 コマ

※変更の場合あり

評価方法・対象・比重

評価基準：P評価、学業評価80%、授業姿勢20%
学業姿勢・出席状況を基に、履修認定の是非を決定する
授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

・テキスタイルに特化した特別講義 ・文化服装学院専任講師、外部講師担当

記載者氏名 杉山 美和

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

1

科コード GA3	科 名 ファッションテキスタイル科3年生	単 位	1
科目コード	科目名 インターンシップ（自由選択）	授業期間	後期

担当教員（代表）： 杉山美和	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

就職活動の一環として、企業や業種の現場研修を行い、仕事の内容を認識するとともに就職意識を高め、活動することを目的とする。また、内定者も継続して研修することにより、実践的な仕事の現場研修とする。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

（自由選択）

企業へ現場研修…13 コマ

- ・キャリア支援室との連携協力のもと各自が希望する企業、関連性のある企業での現場研修を行う（企業側からの提案、必要とされる研修内容に沿い、就職に繋がる研修となることを理想とする）
- ・内定企業へ定期的に現場研修を行うことで、実践的かつ即戦力となる人材の育成へ繋げる。
- ・就職活動の準備として、情報の収集やポートフォリオの作成（インターンシップ研修日以外の授業日）

評価方法・対象・比重 ②

・企業からの研修状況の報告（出欠席、研修態度、研修姿勢、履修状況）、研修内容レポート、就職活動用資料制作準備などで総合的に評価する

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 杉山美和

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

1

科コード GA3	科 名 ファッションテキスタイル科3年生	単 位	1
科目コード	科目名 コラボレーション（自由選択）	授業期間	後期

担当教員（代表）： 杉山美和	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

- ・企業との産学連携のカリキュラムをとおり、学内では学び得られない現場に則した指導を受けることにより、就業内容に近い学習効果が得られることを目的とする。
- ・学内他学科学生との連携により、相互理解と、共創教育による自主性や積極性の発展へと導く人材育成を目指す。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

（自由選択）

各コラボレーション課題…13 コマ

- ・テキスタイルに特化した内容であり、企業・学内各課程とのコラボレーションでの取り組み
- ・制作設定を計画→取り組み→制作→商品化及び発表、展示などへの導き
- ・最終形としてプレゼンテーション発表を行うことで評価する

評価方法・対象・比重

- ・課題取り組み状況（出欠席、態度、姿勢、履修状況）、実施内容レポート、プレゼン発表で総合的に評価する

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 杉山美和

科コード GA3	科 名 ファッションテキスタイル科 3年	単 位	4
科目コード	科目名 卒業研究・創作	授業期間	後期 4

担当教員(代表)： 杉山美和	共同担当者： 太田繁
----------------	------------

教育目標・レベル設定など

ファッションテキスタイル科の最終課題及び集大成として制作するテキスタイル素材とファッションデザインの連動と調和、トレンド性を意識し、テキスタイルの専門分野に特化した完成度の高い作品制作を目的とする。

制作から発表形式までを想定し、作品の効果的な見せ方を考え、表現力を養う。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、
製作物 テキスタイル素材・アパレル作品(テキスタイル素材を生かした作品)・研究レポート・マップ
方法 素材と服の制作方法の作業計画を立て、作品制作を進行する。

コマ数 58コマ

【企画】

- 卒業制作ショーの企画説明・各自のシーンプレゼン・シーン決定
- 情報収集→ テーマの検討・決定
- テキスタイルデザイン企画
- アパレル作品デザイン企画

【試作】

- テキスタイルサンプル試作
- アパレル型出し→ 作品の型出し・補正・布の要尺・縫製工程分析

【制作】

- テキスタイル制作
- アパレル作品制作
- マップ・レポート制作

【発表】 成果発表

- 卒業制作ショー
- 学内卒業制作展示

評価方法・対象・比重 ① 学業評価 80% 授業姿勢 20%

企画力、作品、マップ・レポート、プレゼンテーション、展示構成力

主要教材図書

参考図書

その他資料 ファッションリソースセンター・映像資料室・コレクション DVD・コスチューム資料室 資料

記載者書名欄 杉山美和